

## 会議結果報告書

1. 会議名 平成30年度 第3回 印西市環境推進市民会議
2. 日時 平成30年7月20日(金) 9:30~11:30
3. 場所 印西市役所25会議室
4. 出席委員：田中会長、岩井委員、小山委員、白川委員、根本委員、橋本委員、  
平林委員、福井委員、松崎委員  
事務局：黒田、海老原(環境保全課)
5. 傍聴者 0名
6. 配布資料
  - ・会議次第、会議席次表
  - ・視察研修会資料
  - ・環境推進市民会議での検討事項(グループ討議 発表内容)
7. 内容
  - (1) 開会
  - (2) 会長あいさつ
  - (3) 議事
    - ①手水協協働調査について  
会長 参加した委員から報告を伺いたい。  
委員 大きな変化はなかった。  
当日は県の手水協の担当者が同行しており、新しい湧水の採取場所について提案した。  
生き物調査で確認できた生き物は例年より少なかった。  
確認された生き物で水質を判断する指標については見直した方が良い。ザリガニがいたら「大変汚い水」に分類されてしまう。
    - ②市民アカデミーについて  
会長 参加した委員から報告を伺いたい。  
委員 質問は少なかった。  
環境家計簿の説明については自宅の光熱費を環境家計簿に入力し、それを資料として使用した。  
市の説明の後に沼はCODで測定し、川はBODで測定しているのはなぜかという質問が出た。  
環境保全課の職員として質問に答えられなかったが、河川はBOD、湖沼はCODで測定することは法で決まっている。そういうことは職員として把握しておくべき。そんなことも知らずに市の環境行政に携わっているのは恥ず

かしいことだ。勉強が足りない。

BOD 検査は時間がかかる。

川における BOD 検査は外国から入ってきたもので、日本の川は外国と比べると短いので条件が違う。合わせる必要はないと思う。

時間の都合上、早口で説明してしまったので、もう少しゆっくり話を聞きたかったという意見があった。

### ③視察研修会について

会長 視察研修について説明を求めたい。

市 手賀沼船上視察については我孫子市職員の都合がつかないため、詳しい説明ができない。説明については我孫子市から資料の提供を受けたので、私から説明させていただく。(その他資料のとおり)

委員 別所谷津公園については遊歩道や調整池を見ていただき、そこに生息する在来種だけでなく外来種についても見ていただきたい。

### ④市民会議での検討事項について

#### 1. 「放置竹林の検討」

竹を使ったバイオマス発電の検討については、事業化するだけの竹林が市内にないため、事業化は難しい。

各自治体での取り組みの研究については、竹林整備に補助金を出している自治体があり、特色があるものとして兵庫県猪名川町では、シルバー人材センターを活用し整備した場合は費用の3分の2を助成するというものがあった。

また、取り組み案としては竹林オーナーを募り竹製品で還元する。竹を報酬として、労働力を提供していただくという意見があった。

竹の有効活用としては食用の竹パウダー、竹炭を餌にまぜた養鶏などがあった。

#### 2. 「里山保全の検討」

活動方法としては市との協働事業が有効である。

里山の草刈り、伐採などの整備をしないことで生き物が減っている。

里山整備に活用できる補助金を調べてもらったが、良いものが見つからなかった。

#### 3. 「SDG s の検討」

3年前に決議されたが、日本は取り組むのが遅く、ここにきてようやく取り組み方針を示しており、東京五輪についてはSDG s 五輪にしようと掲げている。SDG s は17の目標と169のターゲットを掲げているが、環境推進市民会議の検討では環境に係わる約30のターゲットに絞り検討したい。例えば食品ロスの問題については、給食の食べ残しを減らす方法などを検討し

たい。また、再生可能エネルギーの普及については、クリーンセンター移転後の施設をバイオマス発電施設として改築し、今おこなっている熱供給事業やプール事業なども継続して利用できるよう市に提案したい。研究の成果については来年の市民アカデミーで発表したいと考えている

⑤その他について

委員 国道 464 号線のオオキンケイギクは種ができてから刈っていたので、来年も繁殖範囲を広げられると思われる。

市民の意見として刈り取り時期を早めるよう管理者に訴えるべき。

アレチウリも増えている。

ススキは毒を出すので、外来種にも負けない。

先日、朝の情報番組で印西市の特集をやっていた。録画したものがあれば、次回の会議で確認したい。

成田空港を利用する観光客は印西市を素通りしている。印西市は空港利用者の集客を検討する空港周辺の市町で構成される地域振興連絡協議会に入っていない。印西市も外国の観光客が訪れるように関係機関へ売り込む必要がある。

平成 30 年度 第 3 回 印西市環境推進市民会議の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

平成 30 年 9 月 14 日

委員 根本 巖

委員 白川 卓生